

## 道路関係四公団民営化の基本的枠組みについて (回答様式)

～ 今後検討すべき課題等 ～

地方公共団体名	岩手県
<b>1 新たな組織と役割</b>	
(1)機構と会社の設立	
意見 現在の検討の方向で良いと考える。	
(2)道路資産の帰属と債務返済の考え方	
支持する案がある (案-1- ) <input type="checkbox"/> 支持できない案がある (案-1-A) <input checked="" type="checkbox"/> どちらとも言えない <input type="checkbox"/>	
上記の理由	
案-1-Aは、新会社が10年を目途に資産を買い取ることとなっているが、10年では債務の残がまだ多く残っており、料金収入による新規路線建設は無理であり、また、無料開放が望めない。	
その他意見	
(3)地域分割	
支持する案がある (案-2-B) <input checked="" type="checkbox"/> 支持できない案がある (案-2-A) <input checked="" type="checkbox"/> どちらとも言えない <input type="checkbox"/>	
上記の理由	
首都 阪神公団及び本四公団は、それぞれ出資団体が異なり、これらは独立して残債務を管理すべきである。また、プール制の長所を生かすためには地域分割は極力少なくすべきである。	
その他意見	
<b>2 新規建設</b>	
(1)建設にあたっての評価	
意見 :高速道路の整備は、我が国のグランドデザインをしっかりと描き、日本の高速道路網がどうあるべきか、大所高所から判断し国が責任をもって整備すべきもので、単に採算性や費用対効果で論ずるべきではない。	
(2)新会社による建設の範囲とその仕組み	
支持する案がある (案-3- ) <input type="checkbox"/> 支持できない案がある (案-3-A) <input checked="" type="checkbox"/> どちらとも言えない <input type="checkbox"/>	
上記の理由	
国が責任をもって整備すべき高速道路のが新会社にまかせられており、しかも新規路線建設が極めて困難である。	
その他意見	

### 3 料金の性格と水準

(1)料金の性格と民間企業としての収益確保

支持する案がある(案-4-B)  支持できない案がある(案-4- )  どちらとも言えない   
上記の理由

料金に利潤を含めると新会社に対する固定資産税が生じ、基本的な枠組みが成り立たなくなり、債務返済や新規路線建設に大きな影響が生ずる。

その他意見

(2)料金の水準

意見 高速道路の料金が高く、それが利用率の低下の原因の一つになっていることから、徹底したコスト削減等による料金の引き下げに努力すべきである。

### 4 承継する資産・債務の内容・評価

(1)承継資産・債務の考え方

意見 現在の検討の方向で良いと思う

### その他の意見 (道路関係四公団の民営化、基本的枠組み等について自由にご記入下さい)

道路関係四公団の民営化を急ぐあまり、高速道路整備の仕組みづくりが拙速とならないよう、国家的見地から十分に吟味するとともに公正・公平の観点から地方の実情、地方の意見を真摯に受け止め十分に審議すべきである。